

2025 年 8 月 29 日

各位

会 社 名 日 東 紡

代表者名 取締役代表執行役社長 多田 弘行
(コード:3110、東証プライム)

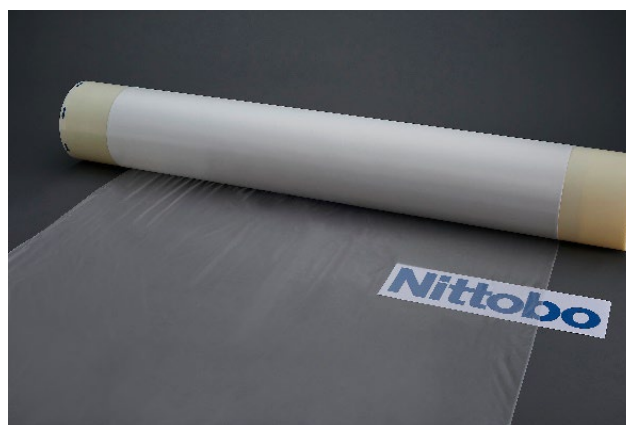
問合せ先 上席執行役 梶川 浩希
(電話番号 03-4582-5040)

ガラスクロス生産体制の増強に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会で、福島事業センター内にガラスクロスの生産設備を増設することを決議いたしましたので、お知らせします。

近年の生成 AI 技術の急速な進化と普及に伴い、AI サーバーも高性能化と市場規模の拡大が進んでいます。2023 年夏以降、AI サーバーのチップ間の高速通信に必要なスイッチのマザーボードに当社の低誘電ガラスクロスが採用され、その需要が急増しました。その後、2024 年より、AI サーバー用半導体に複数のチップを高密度に接続する先端パッケージング技術が本格的に採用され始めました。この技術は、半導体パッケージの高性能化を可能にする一方で、サブストレート（半導体パッケージ基板）の大型化を必要としており、熱膨張や反りといった課題が顕在化しました。これら最先端のロジック IC の半導体パッケージ基板における課題に対応するために、当社の T ガラスクロスが有効なソリューションとして高い評価を受け、サブストレートへの採用が大幅に増加しました。これらの傾向は今後も続く見込みであり、AI サーバー市場の拡大に伴い、スペシャルガラスの需要が大幅に拡大しています。

このような背景のもと、当社はガラスクロスの生産能力を増強するため、福島事業センター敷地内に新工場棟を増築し、ガラスクロスの生産設備を導入することといたしました。投資額は約 150 億円で、生産開始は 2026 年度第 4 四半期を計画しています。



当社のガラスクロス

本投資における最先端ロジック IC の半導体パッケージ基板に使用される T ガラスクロスの増産に資する設備投資については、経済産業大臣より、「経済施策を一体的に講ずることによる安全保障の確保の推進に関する法律」に基づく「供給確保計画」の認定を受けました。これにより、最大約 24 億円の助成金の交付を受ける予定です。今回増強する生産能力をすべて最先端ロジック IC 用途 T ガラスクロスの増強に充てた場合は、現在の生産実績の 3 倍程度の生産が可能になります。

また、新工場棟建設関連の設備投資については、福島県の「ふくしま産業活性化企業立地促進補助金」の採択を受けています。

これらの認定および補助金は、本設備投資計画が、国家の経済安全保障に十分効果的であることに加え、地域経済の活性化に貢献するものとしても評価されたことの証であると考えています。

当社は、2017 年度から、高付加価値戦略を重要施策の一つとして掲げ、台湾でのスペシャルガラス新工場建設や溶融炉の増設、さらに汎用ガラスの溶融炉からスペシャルガラスの溶融炉への変換を進めることで、高付加価値品であるスペシャルガラスの生産能力増強を推進しています。

また、2024 年度から開始した中期経営計画において、4 年間で 800 億円の設備投資を実施すると公表していますが、既にこれまでの 2 年足らずで大半の案件の意思決定を済ませており、計画通り投資を実行する見込みです。これだけの投資を実行しても、市場からの要求すべてに応えられない可能性もあるため、先行すべき設備投資があれば、柔軟に適宜適切な設備投資を継続的に実行していく予定で、今後、中長期的な市場動向を十分に見極めた上で具体的な投資計画を立案していきます。

当社はこれからも、電子材料分野における「グローバル・ニッチ No.1」の地位を確立すべく、一丸となって取り組んで参ります。

【増築の概要】

所在地	福島県福島市佐倉下一本杉 20
生産品目	スペシャルガラスクロス (主要製品：最先端ロジック IC 用途低熱膨張ガラスクロス)
延床面積	増築分 17,212 m ² (工場全体 67,568 m ²)
構造・規模	鉄骨造 地上 2 階建
着工時期	2025 年 10 月予定
竣工時期	2026 年 12 月予定



新工場棟完成予想図



新工場棟完成予想図（鳥瞰）

以上